

東北自動車道黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略 ～第二期計画～

令和6年3月22日更新 青森県黒石市

○人口減少や高齢化による労働力不足、それに伴う生産力低下による地域経済の停滞が懸念されたことから、平成29年に『東北自動車道黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略』を策定した。今後、物流を取り巻く国や産業等の状況を考慮しながら、物流の課題解決等を図り、更なる地域産業の活性化を進める必要があることから引き続き『第二期計画』を策定した。

【背景・経緯】

- 青森県の中央部に位置し、広大な用地を確保できること。
- 労働力の減少に対応するため、周辺地域の各産業分野において物流・商流の改善・最適化に向けた動きが加速されている状況にあること。
- 第一期戦略で5社が操業を開始し、1社が操業を予定しており、操業済みの企業やエリアを活用する企業の取組により、一定の効果を上げているが今後一層効率的な輸送体制の確立が求められていること。
- 国は、総合物流施策大綱を定め、その中で物流が直面する課題に対し、関連する施策を推進していくこととしていること。
- 戦略エリアが第一種農地で企業進出のハードルが高いことまた、『東北自動車道黒石IC』を中心とした周辺インフラとのリンクのあり方課題であること。



東北自動車道 黒石IC

【取り組み方針】

- 企業の物流の合理化を実現するためのプラットフォームの構築。
- 既存の周辺インフラと戦略エリアの効率的な連携をするための手法検討及びエリアの拡大。
- 物流関連企業を周辺の企業が荷主として利用する等、地域産業全体の効率化が図られる環境を事業者と協力し整備。
- 国の動き等や輸送システムの先進事例等を調査、研究し、先駆的対応を推進。



23mダブル連結トラック



※黒石市は、直接用地買収等は行わずに民間事業者の用地取得やその供給に向けた体制を整備し、法的手続きや税の優遇措置など円滑な事業推進のサポート役となる。

【期待される効果】

- ◆物流の拠点化・最適化による地域産業の競争力強化と地域経済への波及効果が期待できる。

⇒特に次の効果が期待できる！！

- 地域産業の競争力向上
- トラックドライバー等の労働力不足に対応
- CO2や燃料削減等の環境効果への波及
- 農産物や工業製品等の安定供給
- 企業の進出拡大による雇用機会創出
- 物流標準化への迅速な対応
- 企業等に新たな人材(人財)確保の可能性

※都市計画道路3・4・7(黒石環状線)の終点である国道102号までが繋がることで更に効果が大きくなることが見込まれる。

- ◆ロジスティクス戦略の期間
前期 令和5年度から5年間
後期 令和10年度から5年間

